

公表 令和 5年 3月 31日

事業所名 スプリング(シンフォニー)

		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準配置以上に配置しています。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年、ホームページにて公表しています。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			外部のコンサルテーションを受けています。	コンサルテーションでのアドバイスを日々の療育に活かし、必要な業務改善を行っています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年代別研修や朝研修、園内外研修などを受けています。	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月予定を作成し、活動のプログラムを子どもの意見を取り入れながら決めています。	今後も継続して、子どもの意見を取り入れたり、コロナ禍であまり経験できなかったクッキングなどのプログラムも入れたり、工夫していきます。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			外活動や室内での設定活動、制作、クッキングなど固定化しないように、子どもの意見を取り入れています。	

適切な支援の提供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日と学校休業日で1日のプログラムをそれぞれ作成し、それをもとに療育を行っています。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			基本は集団での活動の中で人との関係性や仲間同士の関わりや社会性が身につけられるように支援していますが、個別で子どもの気持ちを聞いたり、気持ちに寄り添った時間や、個別の学習支援なども行っています。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日行っています。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日行っています。	職員同士のコミュニケーションを大切にしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日記録をつけて、チームで共有しています。	その日気になった子どもの様子などは、すぐに話し合ったり、保護者へ連絡したり、解決できるように支援していきます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一回モニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			ガイドラインに則った支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			個別のケース会議や、担任同士での電話での情報交換、見学、また小学校に子どもの支援に入っています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか					
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○					

との連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			公園で、一緒に遊んだり、触れ合う機会があります。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			お迎えの際や送迎時、電話などで日頃の様子について、話をしています。	今後も引き続き、保護者とコミュニケーションを大事にし、信頼関係を築いていけるように努力していきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			月に1回、ペアレント・トレーニングやグループカウンセリングを行っています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			事業所内相談を定期的に行い、保護者の困り感や相談に乗っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			親子発達支援やグループカウンセリングなど、定期的に行っています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				苦情があった際は、すぐに対応し、解決できるように努めていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月予定や日々の子どもの様子を保護者に配信しています。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月避難訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止の研修を法人研修で行っています。また、毎週水曜日、虐待防止のため、助けを求め、助けに入る、落ち着くスキルの練習を行っています。	引き続き、落ち着く練習や助けを求め、助けに入る練習を行い、子どもへの適切な対応を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○					

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。